

地域公共交通計画とは

「**地域公共交通計画**」とは、「**地域公共交通の活性化及び再生に関する法律（以下、「地域交通法」という。）に基づく計画**」であり、地域の移動手段を確保するために、住民等の移動ニーズにきめ細かく対応できる立場にある地方公共団体が中心となって、交通事業者や住民等の地域の関係者と協議をしながら、「**地域にとって望ましい地域旅客運送サービスの姿**」を明らかにする**マスタープラン（ビジョン＋事業体系を記載するもの）**です。

	地域公共交通計画（令和 2 年～）	網形成計画（平成 26 年～）	連携計画（平成 19 年～）
計画の対象	●ネットワークの確保・充実に加え、ダイヤや運賃などの面からもサービスを総合的に捉え改善や充実に取り組む ●地域の輸送資源を総動員する具体策を盛り込むことができる	●バス路線などの専ら公共交通のネットワークの確保・充実（主に路線の再編や新規整備）を対象	●バス交通などの活性化・再生を目的としており、特定の交通機関に特化した計画の作成も可能
位置づけ	●地方公共団体による作成を法的に努力義務化 ●基本的に全ての地方公共団体において計画の作成や実施に取り組む	●地方公共団体による作成が可能	●市町村による作成が可能（ただし、複数市町村での作成も可能）
実効性確保	●定量的な目標の設定や毎年度の評価などの仕組みを制度化 ●定量的なデータに基づく PDCA の取組を強化	●可能な限り具体的な数値指標を明示 ●原則、計画終了時・見直し時に達成状況を評価	●可能な限り具体的かつ明確な目標を設定

今回策定する計画

現在の計画

多治見市地域公共交通計画の策定の目的

多治見市（以下、「本市」という。）では、「多治見市地域公共交通総合連携計画（平成 26 年 5 月策定）」、「多治見市地域公共交通網形成計画（平成 29 年 3 月策定）（以下、「現計画」という。）」に基づき、住民の生活に必要な輸送の確保、公共交通の利便性増進、地域の実情に即した輸送サービスの実現を図るため、「**多治見地域公共交通会議**」を中心に**市民、交通事業者、地元団体等の多様な主体と協議しながら、地域公共交通の維持・確保・充実に向けて様々な取組を推進**してきました。

一方、高齢化の進行や公共交通の担い手不足等、本市の公共交通を取り巻く環境が大きく変化していることから、この度、**これまで取り組んできた現計画の方針・事業等を継承しつつ、日々変化する社会情勢や多様なニーズに対応した持続可能な公共交通ネットワークの維持・活性化を図る**ことを目的に、「多治見市地域公共交通計画（以下、「本計画」という。）」を策定します。

計画の区域と期間

【計画の区域】

本計画は、市内の呼応協交通全体を一体的に扱うことから、多治見市全域を計画区域とします。

なお、周辺市町も含めて、持続可能な公共交通ネットワークの維持・活性化を図る必要があることから、個別に協議・調整を図りながら各種取組を推進します。

【計画の期間】

本計画の計画期間は、第 8 次多治見市総合計画や多治見市立地適正化計画といった上位・関連計画との整合を図りつつ、2024（令和 6）年度から 2027（令和 9）年度までの 4 年間とします。

【計画期間】 **2024年度 - 2027年度（令和 6 年度 - 令和 9 年度）の 4 年間**

計画の位置づけ

本計画は、上位計画である「第 8 次多治見市総合計画」や「第 2 期多治見市まち・ひと・しごと創生総合戦略（第 2 次改訂版）」、「第 3 次多治見市都市計画マスタープラン」、「多治見市立地適正化計画」と整合を図るとともに、**本市の公共交通分野の実行計画**として位置づけます。

計画の策定スケジュール

本計画の策定に向けて、以下のスケジュールで進めます。

会 議	日 程	議題（案）
第 2 回 地域公共交通会議	2023（令和 5）年 10 月 18 日（水）	1. 多治見市地域公共交通計画の策定について
交通事業者ヒアリング	2023（令和 5）年 11 月予定	1. 本市における輸送実態について 2. 今後の公共交通のあり方について
第 3 回 地域公共交通会議	2023（令和 5）年 12 月中旬予定	1. アンケート調査結果について 2. 交通事業者ヒアリングについて 3. 公共交通の現況と課題について 4. 公共交通の維持・活性化に係る方針と目標について 5. 今後の公共交通のあり方について
第 4 回 地域公共交通会議	2023（令和 6）年 2 月下旬予定	1. 具体の実施事業について 2. 多治見市地域公共交通計画（案）について

※策定スケジュールについては、現時点の想定です。